



流行性角結膜炎

眼科領域で感染力の強い疾患に**流行性角結膜炎（はやり目）**があります。これはアデノウイルスによって発症する結膜炎ですが、特徴として非常に強い炎症を起こすことと、感染力が強いため、集団感染を起こすことがあります。

症状としては、急に眼が充血し始め、瞼の腫れ、流涙、起床時に多量の眼脂（目が開かない）などが見られます。潜伏期は8-14日とされています。

感染経路は**手指による接触感染**とされており、コロナ対策同様、手指消毒が有効とされています。診断は、臨床所見、経過から判断する場合とウイルス抗原の有無を検査するキットを用います。治療薬は**特効薬がありません**ので自分の免疫でウイルスを駆逐するのを待つしかありませんが、二次感染予防に抗菌剤、炎症をとるために低濃度ステロイドを使用することがあります。治癒に時間を要し、**1週間～2週間**はかかります。もう片眼に伝染することもあるので、さらに長くかかることもあります。必ず治りますが、辛いです…。

ステロイド点眼

花粉飛散時になると眼科以外の科でアレルギー点眼薬をもらうこともあると思います。

しかし、それでも痒みが治らない時はステロイド点眼が効きます。アレルギー点眼薬よりも安価で効果も強いですが、副作用がでることがあります。免疫抑制をかけて痒みを抑えるので、**感染症に対してはマイナス**に働くことがあります。

副作用で**眼圧上昇**が生じることがあります。眼圧は使用してすぐに上昇することもあれば、日数が経過して上昇することもあります。怖いのは自覚症状がないうちにいつのまにか高くなっていて**ステロイド緑内障**になってしまうことです。それを予防するために定期的に副作用の有無をチェックします。

2020年まとめ

2020年はコロナで暇な時もありましたが、多くの患者さんにご来院いただきました。延べ、**7600名**の患者さんにご来院いただき、そのうち**1460名**は新規の患者さんでした。